



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
 - 「交通バリアフリー推進の集い」盛会に終了
 - 交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
 - 東洋大学工学部ユニバーサルデザイン教育手法に関する連続公開研究会
 - 荒川区基本構想点訳版（あふネット）
 - 移送サービスセミナー in 鎌倉 第2回 移動困難者に関する政策と神奈川県移送サービス
 - 老年学公開講座 高齢者にやさしい住まいとまちを考えよう
 - 東京都老人総合研究所・東京都老人医療センター創立30周年記念

- (3) エコモからのお知らせ
 - 平成14年度交通バリアフリー活動に対する助成について
 - 交通機関の情報提供についてご意見をお寄せください
 - らくらくおでかけネットアドレス変更のお知らせ
 - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
 - 交通バリアフリー法に基づく基本構想策定の手引き

- (4) 行政からのお知らせ
 - 交通バリアフリー法基本構想策定状況

- (5) 各種催し物のお知らせ
 - 国際ユニバーサルデザイン会議2002
 - 「AIKI (アイキ)」
 - YAMANOユニバーサルおしゃれ体験会
 - STS (科学技術と社会) Network Japan 2002 冬のシンポジウム「ユニバーサルデザインの可能性」

- (6) その他
 - 書籍に関して
 - 記事募集中
 - お願い(必ずお読みください。)
 - ・転送先について
 - ・送付先について
 - お知らせ

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

「交通バリアフリー推進の集い」盛會に終了

11/15(金)、「交通バリアフリー推進の集い」を国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホールにて開催いたしました。バリアフリー優秀施設・優秀活動として、「高松駅」、「さいたま新都市バリアフリーまちづくりボランティア」、「アクセシビリティガイド実行委員会」が大賞を受賞し、事例報告をしました。また、ネットワーク参加団体の活動事例として、「交通ボランティア実行委員会」と「あふネット」が活動報告しました。また、パネルディスカッションでは、30分近く時間が延長するなど議論を深めました。当日は、ネットワーク参加団体の他に、自治体、交通事業者等、282名ものご参加を頂きまして、大変ありがとうございました。

当日に配布させて頂きました資料を、ご希望の方はご連絡ください。後日、集いの概要版をホームページに掲載する予定です。

また、この集いに関する感想をお送り頂ければと思います。良かった点、改善すべき点、開催会場、ネットワークについて等々何でも結構ですので、下記宛先まで郵送、FAX、E-mailでお送りください。

宛て先：バリアフリー推進ネットワーク事務局（交通エコロジー・モビリティ財団） 宛

〒102-0083 千代田区麹町5-7秀和紀尾井町TBRビル808

FAX番号：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。ご希望の方は、ご連絡ください。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

東洋大学工学部ユニバーサルデザイン教育手法に関する連続公開研究会

この度、東洋大学工学部では公募研究の一つとして「ユニバーサルデザイン教育手法の開発研究」プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは、工学教育のあり方を見直すために、多様な展開を示すユニバーサルデザインの考え方を導入することにあります。現在わが国では企業、行政、設計者らがそれぞれの立場でユニバーサルデザインを推進し、専門家の養成を進めています。私どももそれらの経験に学びながら、新たな工学教育の枠組み・技術者養成の方向を検討しています。学内外からユニバーサルデザインの第一線で活躍する研究者、行政、企業関係者を招き、広範な議論を展開します。是非この討議にご参加頂き、それぞれのお立場でお仕事にお役に立ていただければ幸いです。

対 象：企業、建築・土木設計者、プロダクトデザイナー、行政、研究者、学生等ユニバーサルデザインに関心のある方

開催日程：2002年11月～2003年3月まで連続4回

開催場所：第2回 東京都飯田橋庁舎セントラルプラザ15階多目的ホール

(JR飯田橋駅、地下鉄飯田橋駅下車1分)

第3回 東洋大学工学部4号館第1会議室(東武東上線鶴ヶ島駅下車12分)

第4回 川越市クラッセ川越(東武東上線、JR川越線川越駅下車3分)

参加費：無料(参加希望者は、氏名、所属、e-mail、連絡先、手話通訳の必要性等を事前登録してください)定員100名

申込先：〒350-8585 川越市鯨井2100 東洋大学工学部建築学科 高橋 儀平 宛

e-mail：toyo@m78.com またはFAX049-231-1400

スケジュール

第2回 12/20(金) 14:00～17:00

会場：東京都飯田橋庁舎セントラルプラザ15階多目的ホール(飯田橋駅下車)

テーマ「都市及び交通空間のユニバーサルデザインと開発手法」

討論者 三星昭宏(近畿大学社会環境工学科教授)、畠中秀人(国土交通省道路局企画課)

川内美彦(一級建築士事務所アクセスプロジェクト主宰)、

青木俊幸(鉄道総合技術研究所建築研究室長)

コーディネーター：尾崎晴男(東洋大学)

第3回 2003年1/17(金) 14:00～17:00

会場：東洋大学工学部キャンパス（川越市鯨井2100 東武東上線鶴ヶ島駅徒歩12分）
テーマ「生活支援と環境デザインの開発手法」
討論者 中川聡（（株）トライポットデザイン代表）、
高橋玲子（（株）トミー社会環境部・共用品推進室）
市川 薫（千葉大学工学部情報画像工学科教授）

コーディネーター：清澤文彌太（東洋大学）
第4回 2003年3/3（月）14：00～17：00
会場：「クラッセ川越」（東上線川越駅徒歩3分）

テーマ「企業、行政と教育・研究機関の連携手法」
討論者 山畠則義（埼玉県総合政策部文化振興課ユニバーサルデザイン担当副参事）
関根千佳（株）ユーディット、情報のユニバーサルデザイン研究所代表取締役）
田中直人（摂南大学工学部建築学科教授）
1回～3回の討論者の方（未定）

コーディネーター：高橋儀平（東洋大学）

荒川区基本構想点訳版（あふネット）

全国で取り組みが進んでいる交通バリアフリー法に基づく基本構想策定において、東京都荒川区の基本構想が平成14年3月25日に受理されました。その基本構想独自の概要版の点訳版（2冊組）を、調査・策定作業に携わったあふネットが作成いたしました。現在、交通エコモ財団にご寄付頂きました資料を貸出ししております。ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。

FAX：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

移送サービスセミナー in 鎌倉 第2回 移動困難者に関する政策と神奈川県移送サービス

高齢者や障害者などの移動困難者などの外出介助と移送サービスを社会的に整備・充実することを目的に、現在抱えている共通の諸問題（道路運送法、介護保険、自治体との連携、タクシー事業者との共存、団体マネジメント、市民活動としてのボランティアの参画、利用者ニーズの適性把握など）を解決するための具体的な方策を話し合うセミナーの第2回目を、下記の通り開催しますので、ご参加いただけますよう、ご案内いたします。

日時 12月4日（水） 13:30～17:00

会場 鎌倉市福祉センター2階会議室 神奈川県鎌倉市御成町20-21

JR横須賀線鎌倉駅下車徒歩10分

内容 基調講演「交通バリアフリーの現状とSTSの今後」

室谷正裕氏（国土交通省総合政策局交通消費者行政課長）

事例発表とパネルディスカッション

「病院通院、そのあり方を考える」藤井直人氏（神奈川県総合リハビリテーションセンター）

パネラー 吉川光一氏（相模中央交通（株）運輸部営業課長）

辻本良雄氏（京急交通（株）神奈川営業部長）

岡村道夫氏（横浜移動サービス協議会代表）他

コーディネーター 藤井直人氏

参加費 500円（資料代）

申込み・問合せ先（特定）暮らしいきサポートの会

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船1-14-23 田口ビル2階

TEL 0467-41-4650 FAX 0467-41-468

老年学公開講座 高齢者にやさしい住まいとまちを考えよう

東京都老人総合研究所・東京都老人医療センター創立30周年記念

最近、生活習慣病の予防運動である「健康日本21」に代表されるように、健康長寿やアクティブ・エイジングをめざした様々な社会的な取り組みが活発になっています。物的環境の分野でも、元気で活動的な生活を高齢者の皆様方に送って頂くために、建物については「ハートビル法」、鉄道やバスについては「交通バリアフリー法」が定められ、具体的な整備が始められています。

今回の公開講座では、「住まい」や「まち」をキーワードとする話題を取り上げ、都民の皆様方は無論

のこと、その整備に係わる関係者の皆様方とも、御一緒にこの問題を考えてみたいと思っています。
取り上げさせて頂く話題は、

1. 高齢期に入って介護が必要となった場合でも安心して過ごせるように「生活の場」を重視した新しいタイプのケア施設について
2. 健康長寿を支える歩行、その能力の衰えをカバーする自動車や電動車いすという私的な交通手段と、それらをめぐる道路整備について
3. 高齢者などの利用者を対象とした場合に、鉄道やバスなどの既存の公共交通機関をどう改善するか、そして内外の都市における新しい公共的な移動手段に関する取り組みについてです。

関係者の皆様方のご来場をお待ちしています。

日 時 12月4日(水) 13:15~16:30

会 場 きゅりあん(品川区立総合区民会館)8階大ホール J R京浜東北線大井町駅下車徒歩1分

内 容 講演

「新しいケア施設からみた住まいづくりのヒント」

前川佳文氏(東京都老人総合研究所介護・生活基盤研究グループ)

「高齢の歩行者やドライバーに配慮した道づくりのポイント」

北川博巳氏(東京都老人総合研究所介護・生活基盤研究グループ)

「超高齢社会を考えた新しい移動手段をもとめて」

秋山哲男氏(東京都立大学大学院教授)

司会 溝端光雄氏(東京都老人総合研究所介護・生活基盤研究グループ副参事研究員)

参加費 無料(申込不要) 同時手話通訳あり

問合せ先 東京都老人総合研究所研究調整部

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2 TEL03-3964-3241 内線3008

(3) エコモからのお知らせ

平成14年度交通バリアフリー活動に対する助成について

当財団は、これからの高齢社会の到来に備え、また障害者の社会参加を促進するため、高齢者や障害のある方々の移動円滑化を促進するボランティア団体等の行う交通バリアフリー活動に対して、その活動資金の一部について助成していくことにいたしました。詳細や応募方法については、当財団のホームページ(<http://www.ecomo.or.jp/>)をご覧ください。

交通機関の情報提供についてご意見をお寄せください

視覚障害者や聴覚障害者等の情報制約者に対する鉄道利用に関わる交通情報の提供についての調査を進めております。現在の情報提供の実態把握、及びその課題を明らかにし、円滑に交通機関を利用できることを目標とする情報提供に関する各交通事業者共通のマニュアルの作成を目指しております。

今まで駅をご利用になった際に、お困りになったこと、お気づきになったこと、よかったこと等がございましたら、ご意見や路線名や駅名等をお寄せください。ご意見を頂く際は、ご所属、お名前、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mail等)をお書きの上、郵送、メール:ecomomail@ecomomail.jp、FAX:03-3221-6674までお送りください。

らくらくおでかけネットアドレス変更のお知らせ

沢山の方にご利用頂いているらくらくおでかけネット(交通バリアフリー情報提供システム)のアドレスが、10月1日から新しくなりました。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,j-sky) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアル」を公開しておりますが、本評価マニュアルは、あくまでも地域のボランティア、市民グループ、学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時(地域の基本構想作成時などが考えられます)にお役立ていただく方法として、提供させていただいておりますので、是非ともご自由にお使いいただければと思います。なお、弊財団より、評価を

行う旨の依頼を皆様に行っているものではありませんので、誤解のないよう、よろしくお願いたします。

交通バリアフリー法に基づく基本構想策定の手引き～先進事例に学ぶ～が発刊

平成12年11月「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(交通バリアフリー法)」が施行されました。この法律により、市町村は、一定規模の駅などの旅客施設を中心とした地区(「重点整備地区」)について、駅などの旅客施設、周辺の道路、駅前広場、信号機等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、バリアフリー化のための方針や実施する事業等を内容とする「基本構想」を策定できることとなりました。

法が想定する1日の利用者5,000人以上の旅客施設が所在する市区町村は全国に573ありますが、基本構想の策定計画がある自治体が6割強の368、基本構想が受理されているものは30にとどまっています(平成14年8月13日現在)。また、受理された基本構想にも、住民参加や連携といった基本的な点で質のばらつきが見られます。高齢社会を迎えてバリアフリーに対する期待が日増しに大きくなっているにもかかわらず、基本構想策定への取り組みが遅れていたり、質的なばらつきが見られたりする背景には、基本構想策定の方法が十分に分からなかったり、まだ参考となる事例が少ないことなどが考えられます。

そこで本書では、基本構想策定に取り組む自治体のため、これまでの経験の中で参考になると思われる点を「交通バリアフリー法に基づく基本構想策定の基本的スタンス」としてまとめるとともに、基本構想策定過程での役に立つ工夫や悩み等を共有するため9市区町を先進事例として紹介しています。

今般、国においては「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律(ハートビル法)」が改正され、特定建築物の範囲が拡大されるとともに基準への適合が義務づけられました。これを機に、交通バリアフリー法の運用においても、ハートビル法と連携して公共的建築物も含めた一体的バリアフリー化を図るべく、基本方針の見直しが予定されています。基本構想の策定は、交通を軸にしなが、誰にも移動しやすく、暮らしやすいまちづくりの一環として、様々な分野の連携が必要であるとともに、長期に渡る幅広い視点と卓越した調整能力を必要とします。本書が地方自治体の基本構想策定の一助となれば幸いです。

本書は、9月27日に大成出版社より発刊いたしました(本体価格3,000円 B5 190頁)。なお、本書の要約版として「基本構想策定のポイント」(税込価格150円 A4 14頁)を作成しております。

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

基本構想を作成済みの市区町村 43市区町村

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小折町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市、神奈川県相模原市、滋賀県守山市、大阪府河内長野市、広島県広島市、神奈川県秦野市、福岡県北九州市、大阪府豊中市、長崎県佐世保市、京都府長岡京市、長崎県長崎市、長野県諏訪市、岐阜県各務原市、岐阜県可児市、神奈川県藤沢市、千葉県柏市、福岡県古賀市、静岡県静岡市、大阪府東大阪市、富山県魚津市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha02/01/010813_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

国際ユニバーサルデザイン会議 2002

<http://www.ud2002.org/index-j.html>

11月30日～12月4日の5日間。パシフィック横浜にて開催。

なお、交通エコモ財団では、この国際ユニバーサルデザイン会議の12月3日(火)に実施されるセッション「アジアの公共交通」において、インド、インドネシア、マレーシア、シンガポール、香港(中国)、タイの6カ国のアジアの交通専門家と、カナダの交通専門家によるアクセシブルな公共交通と課題、今後の展望についてパネルディスカッションを予定しています。参加申し込みなど詳しいことは、下記まで。

連絡先：相鉄エージェンシー/パシフィック・コンベンション・サービス

TEL：045-450-7003 E-mail：info@ud2002.org

映画「A I K I (アイキ)」

日活株式会社が、創立90周年の記念作品として作成された「AIKI(アイキ)」が、来年お正月に、全国ロードショーで公開されます。この映画は、ボクサーとしてデビューした主人公(加藤晴彦)が、交通事故により下半身不随になったところから始まります。様々な人々や合気道との出会いによって、主人公が強く、逞しく、成長していく姿を丁寧に描写しています。監督：天願大介、出演：加藤晴彦、ともさかりえ、日野正平、原千晶、永瀬正敏、石橋凌 他。

YAMANOユニバーサルおしゃれ体験会

介護のできる美容師・美容の出来る介護福祉士の育成を目指す山野美容芸術短大(東京都八王子市)とバリアフリーモノマガジン「アイムファイン」を発行するオフィスイント(東京都渋谷区)は来る11月23日(祝)の午後1時~4時の予定で「YAMANOユニバーサルおしゃれ体験会」を開催します。

当日は車椅子利用者(障害児含む)や要介護のお年寄りを対象に、お正月に向けてのバリアフリーな和服の着付けから、メイク~ヘア(オプションでネイル)までを体験できます。募集定員は30名で参加費用は2,000円です。お申し込みは下記までお願いします。

オフィスイント「おしゃれセミナー係」 〒150-0011 渋谷区東3-17-11-201
tel. 03-5795-0702 / fax. 03-5795-0703 e-mail. info@int-corp.co.jp

STS(科学技術と社会) Network Japan 2002 冬のシンポジウム「ユニバーサルデザインの可能性」

近年、ユニバーサルデザインへの関心が急速に高まりつつあります。バリアフリーという考え方が、障害者や高齢者を対象として、彼らが日常生活で対面する様々なバリア(障壁)への局所的な対応策を提供しようとするものであったのに対して(例; 段差へのスロープの設置)、ユニバーサルデザインのアイディアは、はじめから、すべての人々にとって使いやすいデザインを作り出そうとするものとして打ち出されました。そこで追求されているのは、多様な利用者の様々なニーズにあったデザインを作り出しているという姿勢であり、言い換えればそれは、端的に「良いデザイン」を追及しようとする姿勢にほかなりません。

その意味でユニバーサルデザインの思想は、社会福祉といった言葉で括られるような領域に限定されない、より普遍的に適用可能な技術思想を提示しているといえるでしょう。そしてそれは、こんにちにおいて、広く社会のなかでの科学技術のありかたを考えていく上でも、非常に重要な考え方となっていくように思われます。本シンポジウムでは、そのような観点から、ユニバーサルデザインの思想がいかなるものであり、またそこにはどのような可能性が秘められているのかを探りたいと思います。

日時 12月21日(土) 13時~17時40分

場所 東京大学先端科学技術研究センター4号館2階講堂

(最寄駅: 小田急線・東北沢駅より徒歩7分、井の頭線・駒場東大前駅より徒歩10分)

なお、会場までの地図は先端研のホームページをご参照下さい)

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/map/map-j.html>

*参加費、事前の申し込みは不要です。

*STSの会員でない方もご参加いただけます。

プログラム(多少、変更される場合があります)

13:00-13:05 開会/シンポジウムの趣旨説明

13:05-14:05 古瀬敏(建築研究所)「ユニバーサルデザインの思想」(報告50分/質疑応答10分)

14:05-14:15 休憩

14:15-15:05 卯月盛夫(早稲田大学)「都市デザインへの市民参加」(報告40分/質疑応答10分)

15:05-15:20 休憩

15:20-15:45 熊谷晋一郎(千葉西病院研修医/肢体不自由)

「テクノロジーとの付き合い方」(報告20分/質疑応答5分)

15:45-16:25 木原英逸(国土館大学)

「人工物の権力論: リベラリズム・ノーマリゼーション・ユニバーサルデザイン」
(報告30分/質疑応答10分)

16:25-16:40 休憩

16:40-17:40 総合討論

お問い合わせ: STS Network Japan 事務局

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科

(6) その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

http://www.ecomo.or.jp/barier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、エッセイ等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

エッセイに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンを発刊してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お知らせ

現在、お送りしておりますメールマガジンですが、今後は隔月でお送りしていこうと思っております。ただし、臨時版を送らせて頂くこともありますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

コラム

交通バリアフリー法施行後2年を経過して

去る11月15日の日に、2000年に施行された交通バリアフリー法の施行日にあわせ、「交通バリアフリー推進の集い」がバリアフリー推進ネットワークにより開催された。当日は300名近い参加者があり、参加者は地方自治体、交通事業者、ボランティア団体、障害者の方々が、北は北海道から南は沖縄まで、特に視覚障害者の方々の参加も多く、愛媛から電動車いすを利用される方が、この日を楽しみに参加したと言う方もあり、バリアフリーに対する大きな熱意を感じるとともに、バリアフリー推進の重大さを痛感し、事務局を担当した我々の目もウルウルと活力に沸いたひとときであった。

12月1日東北新幹線「はやて」デビュー

あの月光仮面のテーマソングでお馴染みの「はやてのように現れて、はやてのように去っていく～」が12月1日東北新幹線に「はやて」で登場する(ちなみに列車愛称は一般公募とのこと。)。東京~八戸間最短2時間56分でデビューする。この「はやて」には、大型洋式トイレが設置されタッチ式の自動ドアで車いすの方も利用が可能、ベビーシート、温水洗浄式暖房便座、またサービス選任スタッフ「グリーンアテンダント」(グリーン車)の配備、赤ちゃんへの授乳などに使えるサービスルーム等が設置されており、バリアフリー対応の車両となっている。一度乗ってみたいですね。

